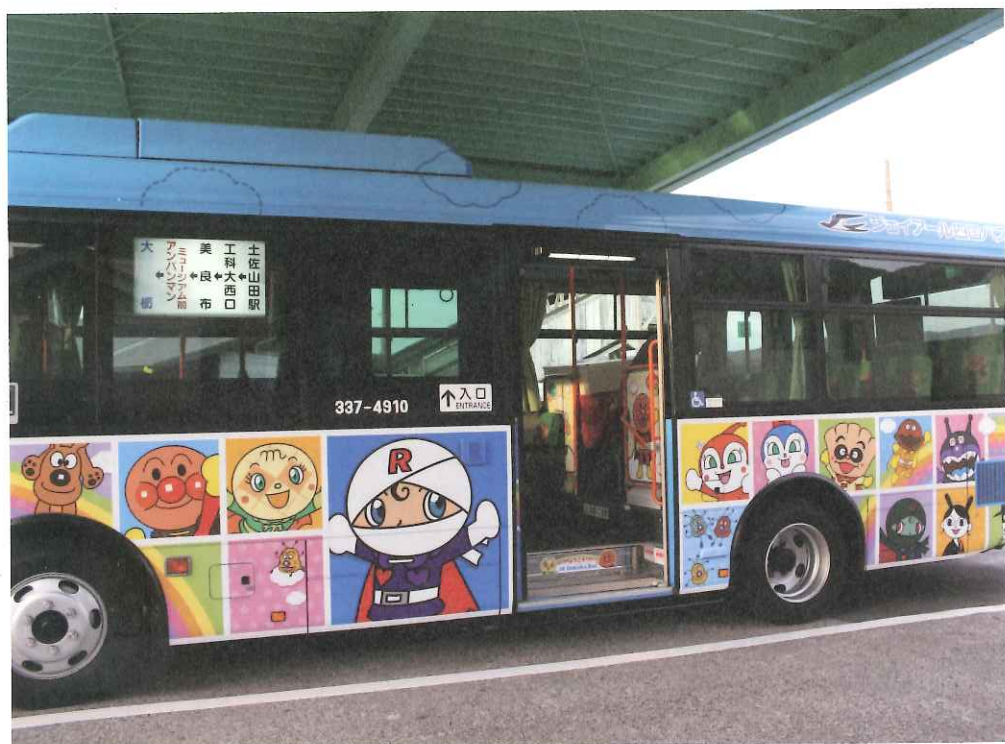




つなぐ ～香美市子どもパンフレット～





## やまだゆめフォトクラブから皆様へ

私たち、やまだゆめフォトクラブは香美市の山田高校写真部で結成されました。

今回、写真パンフレットという形で皆様に香美市を紹介し、香美市に来たことのない方、香美市から出ていかれた方、そういった皆様と、香美市をつなぐことができれば嬉しいです。

香美市は、高知県の東部に位置し、物部川に沿って、土佐山田町、香北町、物部町の3つの町に分かれています。私たちが在籍している山田高校は土佐山田町にあります。土佐山田町から物部川沿

いを北上すると、香北町です。このページの写真は香北町の自然公園です。国道195号線は、桜や紫陽花、紅葉など、季節によって様々な自然が楽しめます。さらに北上すると、物部町があります。剣山公園にあるべふ峡、いざなぎ流が伝わる地としても有名で、平家の落人の伝説も残っています。

香美市の学校は地域での活動が盛んです。町全体で私たちを育ててくれています。今回のパンフレット作製にあたって、小学校や中学校に協力をいただきました。



香北の自然公園(アンパンマンミュージアムの裏山斜面)には、四季折々の花が咲き、香北町を一望できます。

香美市の鏡野中学校では、「この町の笑顔を伝えたい」と言っていました。

香美市の山田小学校では、町を探検して見たもの感じたものを詩や新聞にしています。山田小学校の2年生が書いてくれた詩をここで紹介します。町を探検して、見つけた山田の自然について書いています。川から伸びている水路の水が、田んぼや畑、花を潤していることを、人間の血のようだと表現してくれています。

物部川の「いのちの水」が流れる香美市へ、皆様、どうぞお越しください。

#### いのちの水

町たんけんで 山田の町をあるいたよ  
川から 水ろがのびていたよ  
あっちもこっちも つづいていたよ  
水ろのそばには 田んぼやはたけがあったよ  
水ろのふたのあいだから  
ピンクの花が生えていたよ  
水から 町が生まれたんだよ  
からだの中のみちみいだよ  
水はいのちだよ  
町のいのちだよ

アンパンマンミュージアムでみんなを出迎  
えるアンパンマン。「ようこそ香美市へ！」  
やまだゆめフォトクラブがご案内します。



香美市立やなせたかし記念館

香美市香北町美良布1224-2

0887-59-2300



ここは、アンパンマンミュージアム。元気な子ども、笑顔を浮かべる大人、明るいスタッフ、大人も子どもも楽しめる、そんなところ。



アンパンマンミュージアムの入り口には、キャラクターの像が並んでいます。



前の公園は小さい子どもが遊ぶのにちょうどです。広場では、よくイベントも開催されています。



ここ香北町には、アンパンマンのキャラクターがいたるところに隠れています。



上を見ても、横を見ても、足元を見ても、かわいいキャラクターに会えるでしょう。



## 大川上美良布神社

香美市の神社では夏や秋に様々なお祭りがあります。今回は、神輿のおなばれ行列で知られている、香北町の大川上神社の秋の例大祭(毎年11月3日)を紹介します。

「おなばれ」と呼ばれるこのお祭りは、昔からあるお祭りです。私も小さいころに参加しましたが、友だちと一緒にとても楽しかった思い出があります。見物客もたくさんいて、町がにぎわう一日です。





## べふ峡温泉

香美市物部町別府452-8

青空の美しい日には、物部までドライブしてみても  
どうでしょうか。

初夏には、香美市のあちこちでフラフが風に揺ら  
れているのを見ることができます。フラフは香美市の  
特産品の一つです。

秋には別府峡の紅葉が鮮やかです。

物部川流域を中心に香美市では、季節ごとにイ  
ベントが開かれています。親子連れで賑わうイベン  
トもあれば、お酒を扱う大人のイベントもあります。機会  
があれば、ぜひ参加してみてください。





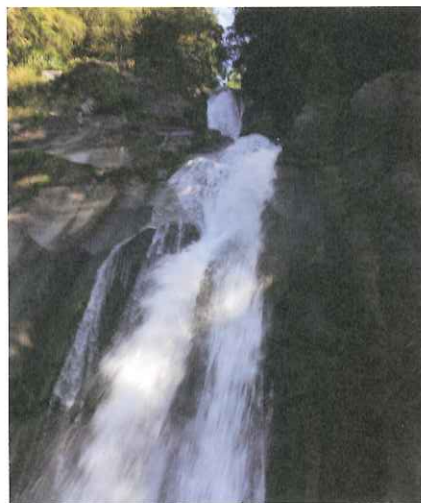
## 物部川(日御子)・轟の滝

太陽の光を受ける橋。

遠目から見てもわかるほど、きれいな深紅色は一目見れば、忘れないでしょう。

物部川は、香美市、香南市、南国市をまたぐ流域をもち、土佐湾に注ぐ一級河川です。上流から下流まで、水遊びやキャンプ、釣りを楽しむ人が見られます。

物部川上流の轟の滝は、三段の滝つぼから流れ落ちています。展望台から眺めた後は、すぐ近くでゴオーっという音と降ってくる水飛沫を感じられます。







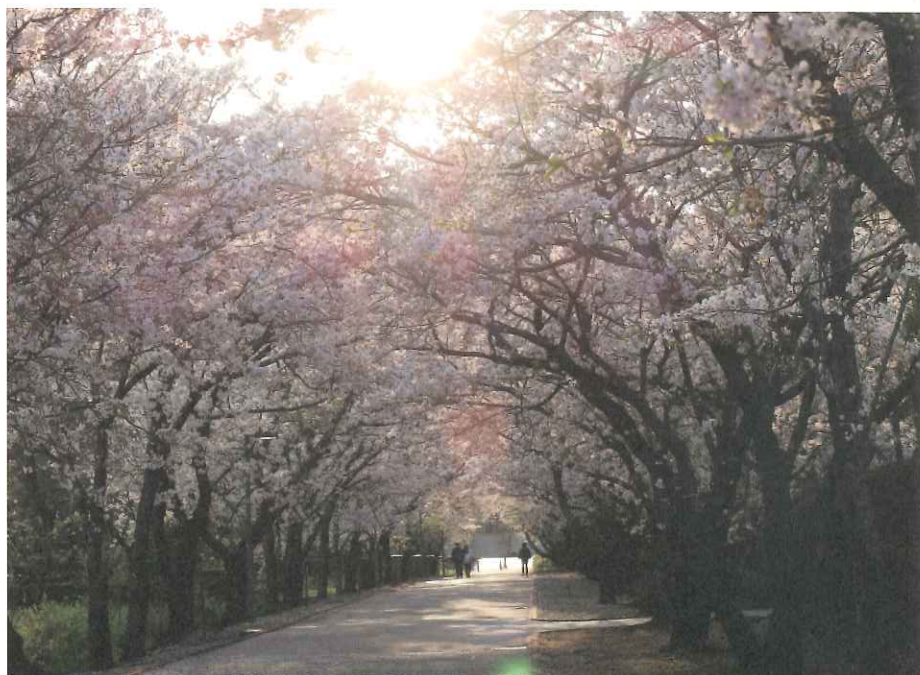
## 秦山公園

ここは土佐山田町にある秦山公園です。

土佐山田には秦山公園のほかには、桜並木で有名な鏡野公園もあります。ここ秦山公園の魅力は遊具が充実しているところです。大型遊具があって親子で楽しむことができます。特にトランポリンはおもしろいです。広場では、鬼ごっこも楽しめます。

駐車場があるので、親子連れだけでなく、どなたでも休憩できる場所です。





桜の名所は多く、日本さくら名所100選にも選ばれた鏡野公園(上)・八王子宮(左下)など、見所がいたるところにあります。





四季折々に美しい姿を見せてくれます。

# 小学生から山田の良い場所を皆様へ

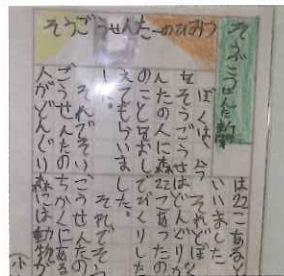
ここでは、香美市の山田小学校の子どもたちが調べた土佐山田町のおすすめ観光スポットをカフェ・レストラン紹介します。子どもたちは「山小探検隊」として、町のいいところを探しています。香美市は、「もう一度来たい」と思わせる場所がたくさんあります。ぜひ、皆さまも探検してみてください。



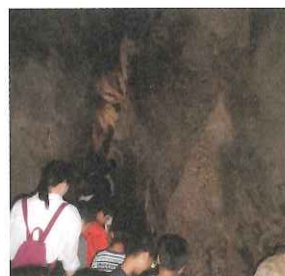
土佐山田の町を巡ってください。歴史ある中に新しいものをきっと発見できるはずですよ。



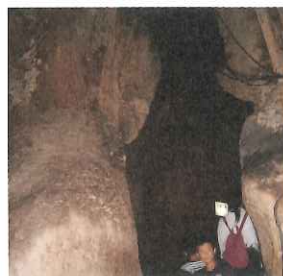
森林総合センターでは、自然豊かな山の中、自然に関するさまざまな知識を学べます！



自然の中でいろいろなことを感じることでしょ。



ここは、龍河洞です。天井からツララのように垂れ下がっているのは、鍾乳石と呼ばれる石です。



龍河洞は温度が一定に保たれており、夏は涼しく、冬は暖かく快適に観光できます。



香美市の日曜日。ローカルですが、品数は豊富。香美市役所のすぐ近くです。





香美市にはおいしいものがいっぱい！



古民家を活用したカフェやおいしいご飯の食べられるカフェ。まず古民家カフェ・ギャラリー百年舎を紹介します。



木の落ち着いた雰囲気の中、いただく食事は少し特別な気分になります。



同じ敷地内にはおいしいパスタの食べられる、クアットロ・スタジオ二があります。



くらま「お店をやっているおばあちゃん」という意味だそうです。午前8時から午後5時まで開いています。



作品ににおいがつかないように、メニューが3種類ほどしかありませんが、手作りの小物などを販売しています。



ロイヤルニボシカフェでは、コーヒーの他に手作りケーキなどを販売しています。



また、コーヒーアートを提供しており、子どもでも飲める飲み物も販売しています。



こちらはヒジリというパン屋。香美市にはおいしいパン屋があります。パン屋めぐりも楽しいです。お土産にどうぞ。



さくらベーカリー(写真上 土佐山田町百石町 1丁目7-26)BAKE SHOP ヒジリ(写真下 土佐山田町西本町1丁目2-18)



コンビニエンスおかばやしのお菓子(香北町美良布1347-1)と蕪生の里美良布直販店のお菓子(香北町美良布1211)



香美市のスーパー、バリューは県外の厳選商品や県内の新鮮な商品がたくさんあります。



地元野菜を販売するかかし市もあります。取材時はちょうどクリスマスの日で、お店の方の仮装の赤い帽子と、お客様の笑顔がとても印象的でした。



店長は、商品を吟味して、お客様の食卓においしさを届けています。



「かかし市」のコーナーには、新鮮な農家の野菜を仕入れています。



こんな不思議な形の野菜も見るすることができます。



1個、2個、3個と、次々と商品を手にとるに違いありません。山田高校開発の山田まん、雪ヶ峰牧場のデザートなどは、おすすめ！



高級卵もあります。



香美市特産の生姜を使った山田まんは、生姜が苦手な人でもおいしく食べられます。



完全放牧の雪ヶ峰牧場のジャージー牛から作られるデザートがスーパーバリューには売られています。



雪ヶ峰牧場のアイスブリュレ。濃厚なキャラメルの甘さが口いっぱい広がります。

# 中学生が見つけた満開スマイル～スマイルプロジェクト～



恒石食品



龍河洞観光タクシー有限会社



ふとんタウンまつだ寝具店



しみず洋品店



衣料のまつむら



有限会社富士屋

これからもずっと、温かい地域と人々が笑顔でつながっていくと「嬉しい」という思いが込められています。



浜田ハイヤー有限会社



浜幸山田店



きっさ茶々



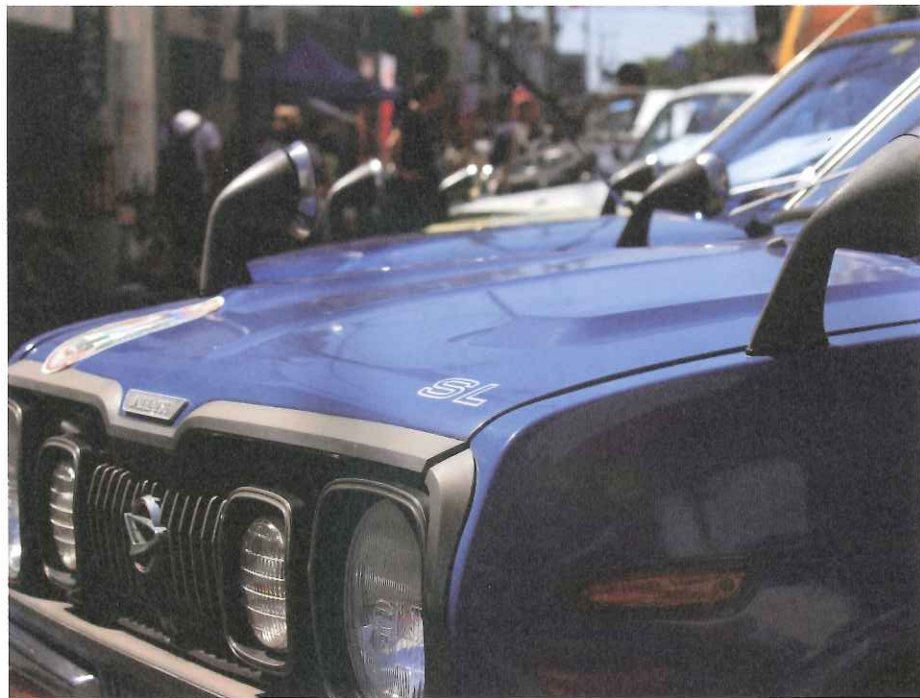
独歩堂



サント企画



がんこ寿司



## 急びす昭和横丁

土佐山田商店街

レトロな雰囲気をまとう青空色の車。

「急びす昭和横丁」というお祭りで、年に1度、9月の2日間だけ、土佐山田商店街に置かれる車のうちの一台です。

ここは、「昭和」を忘れない街です。

ここに来れば、「昭和」

昔ながらの良さを思い出させてくれます。懐かしさにあふれた街です。







## 松尾酒造株式会社

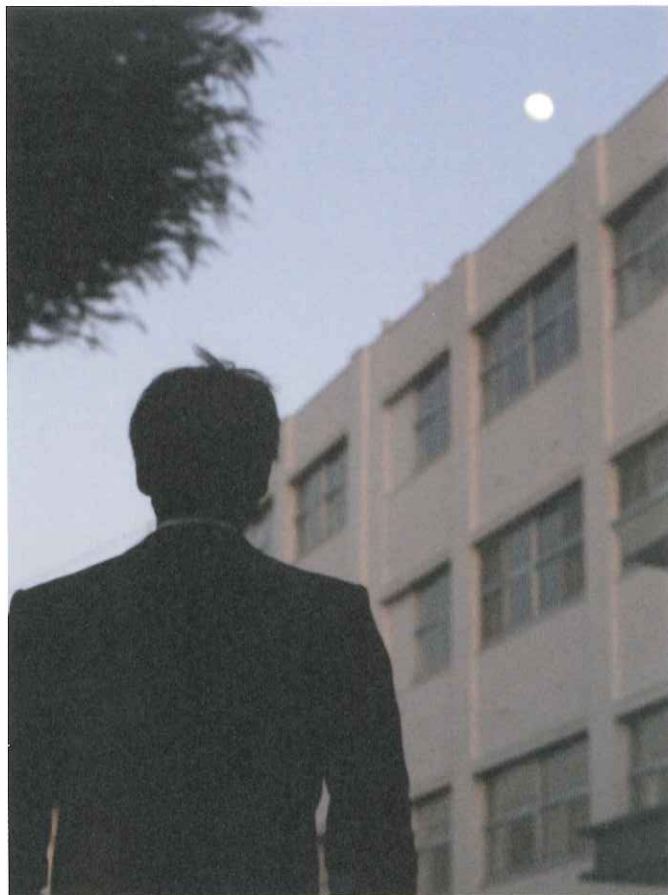
香美市土佐山田町西本町5丁目1-1

香美市には二つの蔵元があります。

今回取材にうかがったのは松尾酒造です。私はお酒を飲んだことはありませんが、社長さんのお話を聞いていると、明るいお人柄とアットホームな会社の雰囲気がお酒の味にも出ているのではないかと思います。機械化が進む中で、昔ながらの方法で作られているそうです。歴史のある建物や蔵を目の当たりにして、平成生まれの私たちは昭和・大正・明治の時代を感じることができました。







## 編集後記

今回、パンフレットを作るにあたって、紹介文というのはどんな風に書けばいいのか悩みました。パンフレットを見ってくれる人に、どんな言葉が適切なのか、書いては消しを繰り返しました。写真を見て、「この写真から、私はこう思ったというのも伝わればいいな。」と思いながら書きました。疲れた心と体を癒し、新たな原動力さえも生み出す、それが香美市の魅力だと思います。

やまだゆめフォトクラブ(山田高校写真部)

©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV



